

日本学術会議 25 期第 4 回歯学委員会 議事要旨

日時：令和 4 年 3 月 8 日 16：00～17：30

方法：ZOOM によるリモート会議

参加者：市川哲雄、西村理行、村上伸也、塙 隆夫、岩本 勉、岩田 隆紀、古谷野 潔、佐々木啓一、山口 朗、山城 隆、森山啓司、石丸直澄、前田健康、中村誠司、朝田芳信、東 みゆき、馬場一美（順不同）

【協議事項】

- 1) 報告「新型コロナウイルス感染症とコロナ禍における口腔に関連した諸問題とその対応」（資料 3）について審議し、幹事に提出すること、査読後の修正等については役員に一任することが了承された。
- 2) 「歯学／口腔科学分野の課題と展望（仮題）」（資料 4）の作成の予定について、委員長から説明があり、6 月を目途として「報告」とし幹事に提出すること、フォーマット、査読後の修正等については役員に一任することが了承された。
- 3) パンデミックと社会に関する連絡会議について（資料 5、6）について、委員長から説明があり、引き続き歯学領域から発信していくことが了承された。
- 4) カーボンニュートラルに関する連絡会議（資料 7）について、委員長および佐々木委員から説明があり、引き続き歯学領域から発信していくことが了承された。
- 5) 日本学術会議が提案する学術計画（旧マスタープラン）について、委員長、西村副委員長、塙委員から説明があり、応募する準備をすることが了承され、相応しい企画内容があれば役員に提案するようにとの依頼がされた。
- 6) 公開講演会／シンポジウムの開催について、委員長から現在企画されているものの説明があり、今後相応しい企画内容があれば役員に提案するようにとの依頼がされた。

【報告事項】

- 1) 日本学術会議の活動（資料 8）について、委員長から説明があった。
- 2) 会員、連携会員の選考（資料 8）について、委員長から説明があった。会員、連携会員の推薦については、選考基準を踏まえて相応しい人を推薦するようにとの依頼がされた。
- 3) 日本学術会議歯学領域の活動（資料 9）について、委員長から説明があった。
- 4) 第 25 期の第二部査読体制（資料 10）について、委員長から説明があった。
- 5) その他

- ・ 26 期に向けての歯学委員会内の分科会の設置について、より分野横断的な構成、内容にすることなどが話し合われ、その準備すること確認された。
- ・ 歯学領域のジェンダーの問題、学術会議の役割などの意見交換を行った。

【資料】

資料 1 : 25 期歯学委員会委員

資料 2 : 第 3 回歯学委員会議事要旨

資料 3 : 報告「新型コロナ感染症とコロナ禍における口腔に関連した諸問題とその対応」
最終案（後日送付）

資料 4 : 見解／報告「歯学／口腔科学分野の課題と展望（仮題）」企画案最終案（後日送付）

資料 5 : パンデミックと社会に関する連絡会議について 議事要旨

資料 6 : パンデミックと社会に関する連絡会議について 概要説明

資料 7 : カーボンニュートラルに関する連絡会議 議事要旨 概要説明

資料 8 : 日本学術会議総会資料

- 科学技術政策担当大臣等政務三役と総合科学技術・イノベーション会議有識者議員との会合（令和 3 年度）日本学術会議の在り方に関する政策討議（第 9 回）

https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/20220120_2.html

- 学術の発展・研究力強化 資料 8-1

- 会員選考プロセスの見直しについて（検討案） 資料 8-2

資料 9 : 日本歯科医学会誌報告

資料 10 : 第 25 期の第二部査読体制